

Ⅲ 調 査 票

--	--	--	--	--	--	--	--

【お願い】
アンケート回答の前に県政モニターID
番号を左の枠内に記入してください。

記載欄（モニターIDが不明な場合のみ記載してください）

県政モニターID番号がご不明の場合
はお手数ですが本人確認のため、お
名前、生年月日を右側の記載欄にご
記入をお願いします。

【記載例】 長野 太郎
(昭和22年2月22日)

氏 名 ()

生年月日 (年 月 日)

【県歌「信濃の国」について】

長野県の県歌「信濃の国」は、平成30年5月20日に県歌制定50周年を迎えました。
県では、県の魅力が盛り込まれた「信濃の国」に、今後ますます親しみを持っていただく
とともに、歌い継いでいただけるような取組を進めてまいります。
つきましては、県歌「信濃の国」について、以下のとおりお伺いします。

問1 県歌「信濃の国」を歌えますか。(○は1つ)

- ① すべて歌える(1番から6番まで)
- ② 1番は歌える
- ③ 1番は歌えないが、部分的に歌える(歌詞の一部を歌える)
- ④ メロディは知っているが歌えない
- ⑤ メロディも知らないので歌えない

問2 今年度、県歌制定50周年を契機に、「信濃の国」を通して長野県の魅力を再発見したり、
県民としての誇りを再認識していただくことを目的に、アルウィン(松本市)での
キックオフイベントの開催や、特設ウェブサイトの開設、写真・動画等の投稿キャン
ペーンに取り組んできました。

今後、県歌「信濃の国」の魅力をさらに広め、より多くの方々に歌い継いでいただく
ため、効果的と考えられる取組をすべて選んでください。(○はいくつでも)

- ① 県の広報誌、テレビやラジオの広報番組等で情報を発信する機会を増やす
- ② 県公式ホームページ、特設ウェブサイトで紹介する情報を充実する
- ③ Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)などのSNSで紹介する
- ④ 「信濃の国」について学べる機会を充実する
(小中学校で歌う・学ぶ、出前講座の開催など)
- ⑤ 「信濃の国」の曲や映像を放送する場を増やす
(県内観光イベントや、合同庁舎受付窓口等で放送・放映するなど)
- ⑥ その他(具体的に)

【参考】

○県歌「信濃の国」

- ・1899年(明治32年)に長野県師範学校教諭の浅井湧が作詞、翌年1900年(明治33年)に同校教諭の北村季晴が作曲。
- ・師範学校の卒業生が県内の学校で生徒に教えたことにより各地に広がり、歳月を経て、親から子へ、子から孫へと歌い継がれてきた。
- ・1966年(昭和41年)に県章やシンボルを決定した際、「信濃の国」を県民意識の高揚のために県歌に制定してはどうかという気運が盛り上がり、1968年(昭和43年)5月20日に「信濃の国」が県歌として制定
- ・2018年(平成30年)に県歌制定50周年を迎えた。

○県公式ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/koho/kensei/gaiyo/shoukai/kenka.html>

○特設ウェブサイト

<https://shinanonokuni.com>



【長野県原産地呼称管理制度について】

県では、県産食材等の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。
つきましては、長野県原産地呼称管理制度の取組や認定品についてお伺いします。

問3 県が実施する「長野県原産地呼称管理制度（※）」をご存知ですか。
（○は1つ）

※「長野県原産地呼称管理制度」とは、長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度です。

- 認定基準
 - ・長野県産の原料を使い県内で生産され、
 - ・一定の品質基準を満たし、
 - ・官能審査に合格したもの。
- 現在の対象は、ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米（問5表の5品目）

- ① 知っている
- ② 聞いたことがある
- ③ 知らない

問4 「長野県原産地呼称管理制度」で認定品を示す、この認定マークをご存知ですか。
（○は1つ）

- ① 知っている
- ② 見たことがある
- ③ 知らない



問5 「長野県原産地呼称管理制度」で認定している、下記の品目をご存知ですか。
①～⑤それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）

	知っている	聞いたことがある	知らない
①認定ワイン	1	2	3
②認定日本酒	1	2	3
③認定焼酎	1	2	3
④認定シードル	1	2	3
⑤認定米	1	2	3

【長野県森林づくり県民税（森林税）について】

県土の8割を占め、県民共通の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継ぐため、長野県では平成20年度から長野県森林づくり県民税（以下「森林税」）を導入しており、平成30年度からは新たに第3期（課税期間：平成30～34年度）の取組が始まったところです。つきましては、森林税について、以下のとおりお伺いします。

問10 森林税の名称^{*}や使い道についてご存知ですか。（○は1つ）

[1]

※正式名称「長野県森林づくり県民税」、通称「森林税」のいずれでも結構です。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ① 名称を知っており、使い道もよく知っている。 | } → 問10[2]・[3]へ |
| ② 名称を知っており、使い道もある程度知っている。 | |
| ③ 名称は知っているが、使い道はよくわからない。 | → 問10[2]へ |
| ④ 名称、使い道ともに知らない。 | → 問11へ |

問10 問10[1]で①、②または③を選ばれた方にお伺いします。

[2]

森林税の名称、使い道などを、どのようにお知りになりましたか。これまでに森林税について見たり聞いたりしたことがある項目を全て、次の中から選んでください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① 広報ながのけん | ⑦ テレビ(ニュース・番組) |
| ② 新聞記事 | ⑧ ラジオ・有線放送 |
| ③ 市町村の広報紙 | ⑨ 県のホームページ・ブログ |
| ④ 地域情報誌、フリーペーパー | ⑩ SNS(フェイスブック・ツイッター等) |
| ⑤ リーフレット | ⑪ 人伝え(口コミ) |
| ⑥ 納税通知書 | ⑫ 森林税で整備した森林や施設のPR看板等 |
| ⑬ その他(具体的に) | |

問10 問10[1]で①または②を選ばれた方にお伺いします。

[3]

森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが見たり聞いたりしたことがあるものを選んでください。（○はいくつでも）

< 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備 >

- ① 防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐
- ② 河川の周辺に繁茂する森林の整備
- ③ 地域住民等による里山に関わる地域活動全般^{*}への支援
※森林体験活動、薪の生産、山菜・きのこ栽培、野生鳥獣対策、植生保存活動等

< 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用 >

- ④ 「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進
- ⑤ 里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり

< 森林づくりに関わる人材の育成 >

- ⑥ 里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成

< 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用 >

- ⑦ 森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備
- ⑧ 市街地で木々に親しめる緑地の整備
- ⑨ 観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備

< 市町村に対する財政調整的視点での支援 >

- ⑩ 市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援

**問11 森林税を活用した取組についてお伺いします。
森林税は現在、以下のような取組に活用されていますが、このうちあなたが特に大切だと思う取組を選んでください。(〇は3つまで)**

- < 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備 >
- ① 防災・減災の観点から優先的に整備が必要な里山の間伐
 - ② 河川の周辺に繁茂する森林の整備
 - ③ 地域住民等による里山に関わる地域活動全般[※]への支援
※森林体験活動、薪の生産、山菜・きのこ栽培、野生鳥獣対策、植生保存活動等
- < 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用 >
- ④ 「子どもの居場所」へ木のおもちゃ等の設置等、暮らしの中の木材利用の推進
 - ⑤ 里山の薪利用や、松くい虫被害木のバイオマス利用等、資源活用の仕組みづくり
- < 森林づくりに関わる人材の育成 >
- ⑥ 里山管理の地域リーダーや森林セラピーガイド等、森林づくりに関わる人材育成
- < 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用 >
- ⑦ 森林を学校教育や「信州やまほいく」の場として活用するためのフィールド整備
 - ⑧ 市街地で木々に親しめる緑地の整備
 - ⑨ 観光地の景観形成のための森林整備や街路樹の整備
- < 市町村に対する財政調整的視点での支援 >
- ⑩ 市町村が地域の課題解決のために行う森林づくりの取組への支援
- < その他 >
- ⑪ この中に大切な取組はない
 - ⑫ わからない

問12 森林税やその使い道が、県民の皆様にとってより身近に感じられるものとなるためには、どのような取組が大事だと思いますか。(〇は3つまで)

- ① インターネットを活用した情報発信の充実 (ホームページ・SNS等)
- ② 紙媒体を活用した情報発信の充実 (広報誌・リーフレット等)
- ③ テレビやラジオ番組での紹介
- ④ 森林税で整備した森林や施設の見学ツアー
- ⑤ 森林・林業に関わる体験型のイベント
- ⑥ 森林づくりについて考え、意見交換する機会(ワークショップ等)
- ⑦ 子ども達や若者世代に森林の役割等を伝える取組
- ⑧ 長野県ならではの里山の価値・魅力のPR
- ⑨ その他(具体的に)

【文化芸術活動に関する実感について】

文化芸術活動は、人生に彩りを与え「豊かな」ライフスタイルを実現するために重要な役割を果たしています。

県では、文化芸術活動への参加者を増やすため、「長野県文化芸術振興計画」に基づき、文化芸術施策に取り組んでいるところです。

つきましては、今後の取組の参考とするため、以下のとおりお伺いします。

問13 過去1年間に、文化芸術活動（鑑賞を含む）（※）を行いましたか。

① はい

② いいえ

※「文化芸術活動」とは、あなたが楽しさや感動を感じ、創造力や表現力がはぐくまれたと感じる下記のような活動をいいます。また、この設問での鑑賞にはテレビ、インターネット等による鑑賞は含みません。

問13で「①はい」を選ばれた方にお伺いします。以下のどのような文化芸術活動を行いましたか。自ら創作・参加した文化芸術活動、又は文化芸術作品の鑑賞をしたものについて、あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも、両方でも）

	自ら創作・参加する文化芸術活動	文化芸術作品の鑑賞
① 音楽(クラシック・ロック・ポピュラー・演歌など)		
② 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)		
③ 写真		
④ 演劇(現代劇、ミュージカルなど)		
⑤ 舞踊(バレエ、ダンスなど)		
⑥ 映画・漫画・アニメ		
⑦ 日本の伝統芸能(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)		
⑧ 地域の民俗芸能(獅子舞、神楽など)		
⑨ 演芸(落語、漫才など)		
⑩ 生活文化(書道、華道、茶道など)		
⑪ 文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)		
⑫ 国民娯楽(囲碁、将棋など)		
⑬ その他 (具体的に:)		

問14 あなたが住んでいる地域の文化的環境、例えば、鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的まちなみの保存・整備などに満足していますか。(○は1つ)

- ① 満足している
- ② どちらかといえば満足している
- ③ どちらかといえば満足していない
- ④ 満足していない
- ⑤ わからない

問15 あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- ① ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
- ② 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
- ③ 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
- ④ 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
- ⑤ 芸術家や文化団体の活動の支援
- ⑥ 文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用
- ⑦ 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
- ⑧ 特に必要はない
- ⑨ その他(具体的に: _____)
- ⑩ わからない

【健康づくりに関する実感について】

県では、平成30年3月、県民の皆様とともに健康づくりの取組を進めていくための指針となる「第2期信州保健医療総合計画（第3次長野県健康増進計画）」〔計画期間 平成30（2018）～2023年度〕を策定しました。

この計画では、県民の皆様とともに健康づくり県民運動「信州ACE（エース）プロジェクト（※）」を推進し、めざす到達点として統計指標とともに統計では把握できない県民の皆様の実感についても指標としております。

こうした県民の皆様の実感を把握したいため、以下のとおりお伺いします。

※「信州ACE(エース)プロジェクト」とは、長野県が展開する健康づくり県民運動の名称です。脳卒中をはじめとした生活習慣病の予防に効果のある、「体を動かす:Action」「健診を受ける:Check」「健康に食べる:Eat」などに取り組み、世界一の健康長寿を目指します。

問16 ご自身の健康状態をどのように感じていますか。（〇は1つ）

- ① よい ② まあよい ③ あまりよくない ④ よくない

問17 現在(または過去1年間)、次の中で取り組んでいることがありますか。①～⑤のそれぞれについてお答えください。（〇は1つずつ）

	取り組んでいる	少し取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない
① 運動(体を動かす)に関すること (スポーツ、ウォーキング、ラジオ体操、よく歩く、こまめに動くなど)	1 —————	2 —————	3 —————	4
② 食生活に関すること (食べすぎ防止、減塩・うす味、野菜摂取など)	1 —————	2 —————	3 —————	4
③ 生活リズムに関すること (睡眠時間、早寝・早起きなど)	1 —————	2 —————	3 —————	4
④ 飲酒に関すること (過剰飲酒防止、休肝日など)	1 —————	2 —————	3 —————	4
⑤ 健康診断受診に関すること (特定健診、職場健診、がん検診、人間ドックなど)	1 —————	2 —————	3 —————	4
⑥ その他(具体的に)				

問17の①～⑤の項目の内、1項目でも3または4に〇をした方は、その理由をお答えください。（〇はいくつでも）

- ① 健康上や障がいの理由のため ⑤ 仲間がいない
- ② 時間がない・忙しい ⑥ お金がかかる
- ③ 場所がない ⑦ そのような気持ちがない
- ④ 面倒くさい ⑧ その他(具体的に)

問18 ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

- ① 健康に配慮した(適正エネルギー量、適塩、野菜摂取等)メニューを提供する飲食店の充実
- ② 健康に配慮した(適正エネルギー量、適塩、野菜摂取等) 弁当や総菜等を販売する店舗の充実
- ③ 塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実
- ④ ウォーキングコースや歩道の整備
- ⑤ スポーツジム、プール等運動施設の充実
- ⑥ 施設(事業所・飲食店等)における分煙・禁煙の徹底
- ⑦ 新聞やテレビ等メディア(自治体の広報誌等も含む)からの健康づくりに関する情報(バランスの良い食事や運動の効果的な取組、ウォーキングイベントやコースの情報等)の充実
- ⑧ インターネットやSNSからの健康づくりに関する情報(バランスの良い食事や運動の効果的な取組、ウォーキングイベントやコースの情報等)の充実
- ⑨ 健康づくりに関するイベントの開催(ウォーキングやマラソン大会、食育イベント等)
- ⑩ 職場における健康づくりに関する取組の充実
(スポーツ大会、ウォーキングイベント、健康講話、健康づくりへの助成)
- ⑪ その他(具体的に)

【運動・スポーツに関する実感について】

県では、平成30年3月、スポーツ振興のための具体的施策を定めた「第2次スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画では、統計指標とともに統計では把握しきれない県民の皆様の実感についても指標にしており、基本目標の1つに、「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と定着化を設定しています。

こうした県民の皆様の実感を把握したいため、以下のとおりお伺いします。

問19 あなたがこの1年間に行った運動やスポーツを選択してください。
ただし、学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。
(○は5つまで)

- ① ウォーキング(散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩きなどを含む)
- ② ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
- ③ トレーニング(筋肉トレーニング、トレッドミル、室内運動器具を使ってする運動など)
- ④ 体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなど)
- ⑤ 器械体操、新体操、トランポリン
- ⑥ ダンス(フォークダンス・ジャズダンス・社交ダンス・民謡踊り・フラダンスなど)
- ⑦ 水泳(競泳・水球・飛込・アーティスティックスイミング、アクアエクササイズなど)
- ⑧ 野球(硬式・軟式)・ソフトボール(キャッチボールなど含む)
- ⑨ ゴルフ(コース・練習場)
- ⑩ ゲートボール・グランドゴルフ・マレットゴルフ・パターゴルフ・スナックゴルフなど
- ⑪ 球技(バレーボール、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、ドッジボールなど)
- ⑫ サッカー・フットサル
- ⑬ ボウリング
- ⑭ レクリエーションスポーツ(ティーボール・インディアカ・スポーツチャンバラなど)
- ⑮ 柔道、剣道、空手、相撲、ボクシング、レスリング
- ⑯ 登山・トレッキング(クライミング含む)、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル
- ⑰ マリンスポーツ(ボート・カヌー・ヨット・水上スキー・ダイビング・サーフィン・釣りなど)
- ⑱ ウィンタースポーツ(スキー・スノーボード・スケート・アイスホッケー・カーリングなど)
- ⑲ 弓道、アーチェリー、射撃、クレール射撃
- ⑳ その他()
- ㉑ この1年間に運動スポーツはしなかった

問20 問19で選択した種目を含め、この1年間に運動スポーツを何日ぐらい行いましたか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| ① ほとんど毎日 | ⑤ 3カ月に1～2日 |
| ② 週に3～4日 | ⑥ 年に1～3日 |
| ③ 週1～2日 | ⑦ 行っていない |
| ④ 月に1～3日 | ⑧ わからない |

問21 この1年間に、運動やスポーツを実施したのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 健康のため | ⑧ 家族のふれあいとして |
| ② 体力増進・維持のため | ⑨ 友人・仲間との交流として |
| ③ 筋力増進・維持のため | ⑩ 美容のため |
| ④ 楽しみ、気晴らしとして | ⑪ 肥満解消、ダイエットのため |
| ⑤ 運動不足を感じるから | ⑫ その他() |
| ⑥ 精神の修養や訓練のため | ⑬ わからない |
| ⑦ 自己の記録や能力を向上させるため | |

問22 問20で④～⑦を選択した方にお伺いします。週に1日以上(年51日～100日)運動スポーツを実施できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| ① 仕事や家事が忙しいから | ⑨ 運動・スポーツが嫌いだから |
| ② 子供に手がかかるから | ⑩ 面倒くさいから |
| ③ 病気やケガをしているから | ⑪ 運動スポーツ以上に大切なことがあるから |
| ④ 年をとったから | ⑫ 生活や仕事で体を動かしているから |
| ⑤ 場所や施設がないから | ⑬ その他() |
| ⑥ 仲間がいないから | ⑭ 特に理由はない |
| ⑦ 指導者がいないから | ⑮ わからない |
| ⑧ お金に余裕がないから | |

問23 自ら運動・スポーツをする以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をしていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| ① 指導者として関わっている |
| ② 地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている |
| ③ 各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している |
| ④ 競技場等に出掛けて、スポーツを観戦している |
| ⑤ テレビ等により日常的にスポーツ中継やスポーツ情報に接している |
| ⑥ その他() |
| ⑦ 特に関わっていない |

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。